

## 随意契約結果表(委託等契約)

所属名	山梨県産業技術センター
契約締結年月日	令和6年8月1日
契約者名	松田産業株式会社(収集運搬)、東京トリムテック(収集運搬及び処分)、株式会社万力(収集運搬)、エア・ウォーター物流株式会社(収集運搬)、日曹金属化学株式会社(処分)、三友プラントサービス株式会社(処分)、野村興産株式会社(処分)
契約名	産業廃棄物(廃薬品等)の収集運搬及び処分業務
契約金額 (税込み)	6,500,000円(単価契約)
随意契約理由	<p>産業技術センターでは、これまで廃棄することができなかった廃薬品等(毒物・劇物、危険物)を廃棄するため、2018年度から薬品等の処理業者を探していた。産業技術センター内の廃薬品等は廃酸・廃アルカリ等、非常に多種であり、約600種類・約1,200本存在している。</p> <p>県内の事業者を検討したが、廃酸・廃アルカリを一括処理している業者はなかった。仲介を行って処理をしている業者は県内にもあったため、対応できるか相談したところ、産業技術センターが廃棄しようとしている全薬品の処理は対応できないとの回答であった。</p> <p>その後、5年をかけて、静岡・長野・東京・神奈川など近県の業者10以上に対応できるか相談したが、廃棄薬品の種類が多いため、廃棄のためのサプライチェーン構築(複数の再委託先や輸送業者を選定し手配・契約する必要がある)が現実的ではないことを主な理由として断られていた。</p> <p>上記の状況の中、2023年1月に産業技術センターが廃棄する全薬品の処理が可能と思われる松田産業株式会社(東京都)を発見し、廃棄が可能か照会をかけたところ、対応可能と回答があった。</p> <p>その後、見積を依頼し、成分不明(メーカー品番のみ)の薬品の特定や、薬品の状態の簡易確認等を行うとともに、必要な処理・輸送の再委託先の選定やスケジューリングを終え、2024年4月に参考見積の提出があったところ。</p> <p>以上から、本件業務を可能な業者は当該業者のみであるため、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号の規定により随意契約とする。</p>
随意契約の適用条項	地方自治法施行令第167条の2第1項第2号 財務規則第137条第3項 運用通知第137条関係「4-ア」